

# 最高のチームができた

——チームの強みを教えてください。

**渡部**：前衛が全員170センチ以上あって、アタックもブロックも強力です。セッターのレベルも高く、アタッカーをうまく使ってくれています。そのため頑張ったのがレシーブ。チームが強くなったのは、レシーブを強化したからでもあります。それが今年、うまくかみ合いました。

——市内のふじクラブとはライバル関係にありますね。

**渡部**：ふじクラブに勝たなければ全道一ではないと、選手たちには言っています。

**今野**：千歳地区はかなりレベルが高いので、そんな感じになるんですよ。

みなさんの活躍、紹介します



渡部さん

今野さん

昨年10月開催の全道ママさんバレーボール大会知事杯決定戦で、チームを優勝に導く。現役時代のポジションは、セッター→アタッカー。

トスもアタックもできるオールラウンダーだが、最も自信があるのはレシーブで、「ボールを絶対に落とさない」が信条。

**渡部**：知事杯の後、コート納めで対戦したときも、試合前のミーティングで「知事杯を取ったのここで負けたら、ふじクラブが優勝したみたいになるよ」って。選手たちは「プレッシャー」と言っていました。

**今野**：他チームとの試合とは気迫と戦い方が違いますよね。ふじクラブもきつとそうだと思います。

**渡部**：次の知事杯には、日の出はまなすは出られないので（隔年出場のため、次回不参加）、絶対ふじクラブに優勝してほしいです。

——知事杯決勝を振り返っていかがですか。

**渡部**：1セット目はリードされていて、逆転しました。2セット目は落としましたが、3セット目はラリーをモノに

## 日の出はまなすバレーボールクラブ

わたなべ ひさこ 監督  
**渡部 尚子**  
 こんの ちえこ キャプテン  
**今野 智恵子**



メンバー募集中!



できていたし、いつもの形になつていたので、安心して見ていられました。

——キャプテンから勝利のコメントをお願いします。

**今野**：とにかくみんな気持ちは一つで、「知事杯を取る」を目標に1年間やってきました。優勝が決まった瞬間には、「やったー」に加えて「ああ終わった」と、ホッとしたのもありました。

——知事杯決勝で監督は選手にどう声掛けをしましたか。

「持つて帰るよ!」って。決勝の前、役員の方から「自信はある?」と聞かれて「あります!」と即答しました。その答えたのは初めてだったんです。今までで一番強いチームができましたから。私が監督になってから、最高のチームだと思っています。

## 先生、教えて!



### 尿路結石について



市立千歳市民病院 診療部長 新藤 純理

今月号では、「尿路結石」について紹介します。

尿は2つの腎臓でつくられ、尿管を通過して膀胱に貯まり、尿道から体の外へ排泄されます。その途中で、体に不要となった物質（シユウ酸カルシウム、リン酸カルシウムなど）が結晶となり、大きくなったものが尿路結石です。

尿路結石は、結石が存在する部位によって腎結石、尿管結石、膀胱結石、尿道結石と呼びます。

結石があっても無症状のときもありますが、結石が動いて激痛のため、救急搬送されることがしばしばあります。

具体的には、側腹部痛、下腹部痛、血尿、頻尿症状などが出現し、長期間放置すると腎臓に負担がかかり、機能が低下することもあります。

膀胱結石は無症状のときもありますが、膀胱炎の症状や、尿量の減少などで気がつくこともあります。

尿路結石は稀な病気ではなく、日本人男性では1人に1人が一生のうち1度はかかるといわれており、男女とも増加傾向にあります。

診断は尿検査や画像診断を行います。治療法としては、小さな結石では飲水で尿量を増やし自然に排石されるのを待ちますが、大きな結石や痛みを繰り返すとき、また、水腎症や腎盂腎炎が悪化するときは、ESWL（体外式衝撃波結石破砕術）、TUL（経尿道的尿管碎石術）、PNL（経皮的尿路結石砕石術）などの治療を行います。

当院では病状により適切な治療ができる医療機関と連携し、診療しています。